

科目名	基礎看護方法論Ⅲ（治療に伴う援助技術） (Fundamental Nursing Methods Ⅲ)			科目コード	205
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数（時間）	2単位（60時間）
科目区分	専門科目	履修時期	2年次前期	関連DP	看①②④
担当教員	香川 里美、岡田 ルリ子、徳永 なみじ、谷本 淳子、森 敬子、大野 祐子、野本 百合子				
授業概要	治療に伴う看護を提供する際に基本となる援助技術の修得を目指して、教授する（オムニバス方式）。演習は3～4人を1組とし、看護者・患者・観察者等を交互に体験できるように設定する。				
授業目標	治療に伴う援助技術が、根拠に基づき確実にできる力を養う。 1 援助技術を実施するための根拠となる知識について記述できる。 2 援助技術の実施方法について、安全・安楽・自立の観点から説明できる。 3 技術演習では、安全・安楽・自立に配慮しながら実施できる。 4 技術演習では、グループメンバーと協力しながら、積極的に取り組むことができる。 5 技術演習を振り返り、グループ課題と改善策を、演習後レポート内に記述できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～3	感染予防の技術Ⅲ	*基礎看護方法論Ⅲリエンション	香川里美
		滅菌法、無菌操作 ＜演習＞滅菌物の取り扱い、無菌操作	徳永なみじ 担当教員全員
4～6	創傷管理技術	創傷管理に関する基本的知識と技術 創傷の治癒過程、包帯法 ＜演習＞ 創傷・包帯法	
7～10	排泄援助技術Ⅱ	導尿に関する基本的知識・技術 ＜演習＞ 導尿、超音波診断装置による膀胱容量の観察	香川里美
11～16	与薬の技術	薬物療法に関する基本的知識	
		注射（皮内・筋肉・皮下）の基本的知識・技術 ＜演習＞ 注射部位の確認、注射器具・注射剤の取扱 ＜演習＞ 皮下注射法・筋肉注射法（モデル）	
17	まとめ①	要点整理（感染Ⅲ，創傷，排泄Ⅱ）	単元担当者
18	安全管理技術Ⅱ	治療に伴う援助時の安全対策、異常時の対処法	香川里美
19～22	与薬の技術	静脈注射・輸液療法の基本的知識・技術 ＜演習＞ 末梢静脈内点滴注射法（モデル）	大野祐子 担当教員全員
23～25		内用、外用薬の基本的知識・技術 ＜演習＞ 内服薬与薬（生体）	谷本淳子 担当教員全員
26	まとめ②	導尿・末梢静脈内点滴注射法の技術の復習・実技試験	担当教員全員
27～30	検査時の援助技術	検査時の看護に関する基本的知識・技術 静脈血採血・採尿・採便に関する基本的知識・技術 ＜演習＞ 静脈血採血法（モデル）	森 敬子 担当教員全員
成績評価方法		筆記試験(60%)、実技試験(30%)、事前学習・演習後レポート内容(10%)で評価する。	
教科書		阿曾洋子・氏家幸子・井上智子(2019)「基礎看護技術」(医学書院)	
参考図書等		適宜紹介する	
授業時間外の学習について		根拠に基づく確実な技術の修得に向けて、基本的な知識や技術の事前学習、視聴覚教材の視聴、演習後レポート、技術練習、等の課題を毎回提示する。	
関連科目		158 薬と健康、145 生命活動と代謝、などの既習の知識を活用し、203 基礎看護方法論Ⅰ、204 基礎看護方法論Ⅱ⇒本科目⇒208 基礎看護学実習Ⅰにつなげる	
備考		実 岡田、徳永、香川、谷本、森、大野、野本：看護師（医療機関） 文献・視聴覚教材および教員を活用し、各単元で設定した学習課題に主体的に取り組むことを期待する。	

看護学科
(24カリ)